

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和7年2月3日

提出区分	実績	整理番号	9	課題区分	C
横断的な課題	ハケ岳・霧ヶ峰の豊かな自然と共生する地域づくり				
地域重点政策	ものづくり・観光・農林業振興				
実施機関	諏訪地域振興局				諏訪地域振興局
事業名	首都圏・中京圏魅力PR事業	担当課	所属	商工観光課	
		電話	0266-57-2955(直)2117(内)		
		E-mail	suwachi-shokan@pref.nagano.lg.jp		
事業概要等	目的 (目指す姿)	諏訪地域への来訪者が多い首都圏及び中京圏へアクティビティや酒、食の魅力をPRし、観光消費額の増加をねらう。			
	現状と課題	諏訪地域は、長野県観光地利用者統計調査の主要観光地延利用者数で複数の地点が上位に入るものの、日帰り客の割合が高く1人あたりの観光消費額が県平均と比較しても低い。 このような状況に対して、さらに管内への来訪者上位地域である首都圏・中京圏に、アクティビティ・景観・歴史文化・飲食を組み合わせた旅の魅力を発信し、認知度向上と滞在時間延長を目指した誘客を行うことが必要。			
	内容 (変更後の内容)	観光PRイベントの実施 (1) 中京圏 諏訪地域の認知度を向上し中京圏からの観光客、特に滞在型観光を増やすため、名古屋市にて誘客イベントを実施する。秋シーズンの観光スポットやアクティビティをPRし、合わせてアンケートにより旅行傾向を調査し今後の誘客施策のデータとする。 10月5日(土)～6日(日) 両日11:00～19:00 サカエチカ 大同特殊鋼Phenixスクエアで実施。 (2) 首都圏 来訪者が減少する冬期をPRするため誘客イベントを実施する。冬でも楽しめる観光スポットやアクティビティのPR、特産品の試食を通じて魅力の一端を体験してもらい、そこから実際の諏訪地方への来訪へ繋げる。銀座でのイベントにおいてもアンケートを実施し、次回のPRへ繋げる。 12月14日(土)・15日(日)両日11:00～13:00 銀座NAGANOで実施。			
	事業期間	令和6年5月 ～ 令和7年1月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	PRイベント(名古屋市)	職員旅費	163,590	宿泊料・食卓料 コインパーキング代	
		職員旅費	10,750	農業農村支援センターへ再配当	
		会場使用料	187,000		
		備品レンタル代	13,200	イーゼル・机	
		クリーニング代金	2,640		
		ETC・ガソリン	28,878		
		コピー機使用料	5,000		
		その他雑費	30,363	コピー用紙、コピーインク、ラミネート、消耗品等	
	PRイベント(東京)	職員旅費	97,860	電車料、宿泊料・食卓料	
		職員旅費	12,380	総務管理課へ再配当	
		委託料	220,000		
		その他雑費	0		
		送料	2,880	パンフレット等送料	
	合 計		774,541		
	指標及び達成状況	成 果 指 標		目標値	成果
【名古屋市】出展ブース参加者数		200人	1,087人	● 達成	
【東京】イベント参加者数		40人	43人	○ 一部達成	
				○ 未達成	
事業実績・成果	○中京圏 ・実績 10月5日・6日にサカエチカ大同特殊鋼フェニックススクエアにてアンケート抽選会、アルクマ記念撮影、カヤックVR体験などの観光PRイベントを実施。 ・成果 目標を上回る1,087人の参加を得た。 アンケート結果では、来訪経験がある方の51.2%、来訪経験がない方の36.9%の計393名(44.8%)が来訪したいと回答し、来訪意欲を増進させる効果があった。 ○首都圏 ・実績 12月14・15日に銀座NAGANOで、味噌や寒天・鹿肉等諏訪の伝統食と食文化をテーマに試飲試食を伴う観光PRイベントを開催。 ・成果 目標値を上回る43人の参加を得た。 アンケート結果では、諏訪地域へ訪れるという回答が29%、計画したいが32%と来訪及び消費意欲を高めることができた。また、事業者による、本イベントに連動するツアー制作に寄与できた。				
	今後の方向性	今回のアンケート結果を考察し、引き続き認知度向上及び観光地消費額の増加を目指し、参加者の来訪意欲を喚起する観光PRを継続していく。			